

親愛なる労働者諸兄に警告す (原文の儘)

親愛なる労働者諸兄よ！日本の人口否世界人口の殆ど全部は労働者である而して世界の全財産は我々労働者の血と汗とに依りて作られたるものである、然るに今や資本主義経済組織の一大缺陷に依りて襲來せる不景氣に際し慘忍横暴なる資本家は依りて我々生産者たる労働者の而も尊き人命を奪はんとして居る。

慘忍横暴なる資本家をして我々労働者の正義の前に屈伏せしむるには唯團結の威力あるのみ——親愛なる労働者諸兄よ 醒めよ 労働者諸兄よ起てよ——團結せよ——

東京鐵工組合 日鐵支部

△組合對會社の争議

右日鐵支部發表の檄に擧げたる如く、會社は一月十一日正式に九十名の解雇を發表したり(但人名は未だ公表せず)茲に於て日鐵支部は直に總會を開き右檄文中の要求三ヶ條を議定すると共に先づ罷工に臨むべき陣容を整へたり、役員左の如し

交渉係

委員長 田口龜藏 副委員長 中田惣壽 委員 横石信一 坂東保一 鹽野政五郎

會場整理係

元村清理 吉田佐吉 安崎忠司 淺山彦之丞 飯樋義男

會員係

齋藤三造 松井勝次郎 横山五十鈴 竹内安之助 津田 寅 齊藤收一 秋葉福吉 伊藤彌五郎

中田與吉 松本兼藏 此原政友 島田文造 齋藤藤太郎

交渉係五委員は直に中村社長に面會し、前記三ヶ條の要求を提出したり、是に對し中村社長は第二及第三の兩條を承認し且十五日迄を公休とし手當を支給することを約したるも、第一條の手當百八十分の支給を肯諾せず、茲に於て會社對組合の對抗運動は開始され、會社構内の食堂に參集せる日鐵支部員は資木家呪咀のピラを貼付し演說會を開き結束に努めたり。

△第一回重役會議

於茲十一日午後會社内に重役會を開催し、中村社長より報告あり是に對し牧田監査役は、職工の要求不當なるを力説し、事茲に到らしめたる平素の對職工策を論難し斷じて其要求を容るるの要なしと硬説を吐けり、十二日午後一時より交詢社に於て第二回重役會開催、同日日鐵支部交渉委員は十一日中村社長が「會社は六千四百圓を退職手當を辛くも調達したるにて之以上の金策は全く不可能なり」との答辯に對し「組合は社長の金策不可能説を信せず、宜しく會社は其資産状態を詳説せられたし」と申込みたり、同日の重役會は之を主題として疑議の結果拒絕に決し翌十三日佐野事務は十三日田口等交